

関係各位

薬局だより

薬剤部

定例薬事委員会において新規購入薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用依頼薬品(3/1～)

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
循環器内科	ビジパーク270注50mL (薬価:4,283/瓶)	1ﾊﾞｲｱﾙ/50mL:イオジキサノール27.49g	第一三共	成人1回、下記の量を使用する。なお、非血管内への注入に際しては、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。また、血管内に投与する場合の総投与量は、270mg/ml製剤は180mLまでとする ・脳血管撮影:4-15mL ・四肢血管撮影:8-80mL ・逆行性尿路撮影:20-200mL(原液を生食で2倍希釈し用いることも可能) ・内視鏡的逆行性膵胆管撮影:3-40mL ※1回の検査における総使用量を示す	脳血管撮影、四肢血管撮影、逆行性尿路撮影、内視鏡的逆行性膵胆管撮影
脳神経内科	ロラピタ静注2mg (薬価:2,266/瓶)	1ﾊﾞｲｱﾙ/1mL:ロラゼパム2mg	ファイザー	・成人にはロラゼパムとして4mgを静脈内投与する。投与速度は2mg/分を目安として緩徐に投与すること。なお、必要に応じて4mgを追加投与するが、初回投与と追加投与の総量として8mgを超えないこと。 ・生後3ヵ月以上の小児にはロラゼパムとして0.05mg/kg(最大4mg)を静脈内投与する。投与速度は2mg/分を目安として緩徐に投与すること。なお、必要に応じて0.05mg/kgを追加投与するが、初回投与と追加投与の総量として0.1mg/kgを超えないこと。	てんかん重積状態

※以下【科限定採用】より【通常採用】へ採用区分変更薬品

薬剤部	エフィエント錠3.75mg (薬価:275.4/錠)	1錠:プラスグレル 3.75mg	第一三共	成人には、投与開始日にプラスグレルとして20mgを1日1回経口投与し、その後、維持用量として1日1回3.75mgを経口投与する	経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される下記の虚血性心疾患 ・急性冠症候群(不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞) ・安定狭心症、陳旧性心筋梗塞
薬剤部	炭酸ランタン顆粒分包250mg「トーフ」 (薬価:53.9/包)	1包/0.7g:ランタン250mg	東和薬品	成人にはランタンとして1日750mgを開始用量とし、1日3回に分割して食直後に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は1日2,250mgとする	慢性腎臓病患者における高リン血症の改善
薬剤部	リパクレオン顆粒300mg分包 (薬価:60.8/包)	1包/0.5g:パンクレリパーゼ300mg	マイランEPD	パンクレリパーゼとして1回600mgを1日3回、食直後に経口投与する。なお、患者の状態に応じて、適宜増減する	膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充
薬剤部	ブレディニンOD錠25 (薬価:125.3/錠)	1錠:ミゾリピン25mg	旭化成ファーマ	1.腎移植における拒否反応の抑制 通常、体重1kg当り下記量を1日量として、1日1～3回に分けて経口投与する 2.原発性糸球体疾患を原因とするネフローゼ症候群(副腎皮質ホルモン剤のみでは治療困難な場合に限る。)およびループス腎炎(持続性蛋白尿、ネフローゼ症候群または腎機能低下が認められ、副腎皮質ホルモン剤のみでは治療困難な場合に限る。)通常、成人1回ミゾリピンとして50mgを1日3回経口投与する 3.関節リウマチ 通常、成人1回ミゾリピンとして50mgを1日3回経口投与する ※詳細は添付文書参照	1.腎移植における拒否反応の抑制 2.原発性糸球体疾患を原因とするネフローゼ症候群(副腎皮質ホルモン剤のみでは治療困難な場合に限る。また、頻回再発型のネフローゼ症候群を除く。) 3.ループス腎炎(持続性蛋白尿、ネフローゼ症候群または腎機能低下が認められ、副腎皮質ホルモン剤のみでは治療困難な場合に限る。) 4.関節リウマチ(過去の治療において、非ステロイド性抗炎症剤さらに他の抗リウマチ薬の少なくとも1剤により十分な効果の得られない場合に限る。)
薬剤部	ウルティプロ吸入用カプセル (薬価:245.5/カプセル)	1カプセル:グリコピロニウム50μg+インダカテロール110μg	MeijiSeikaファルマ	通常、成人には1回1カプセル(グリコピロニウムとして50μg及びインダカテロールとして110μg)を1日1回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する	慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解(長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β2刺激剤の併用が必要な場合)

薬剤部	ベタニス錠50mg (薬価:181.5/錠)	1錠:ミラベクロン50mg	アステラス	通常、成人にはミラベクロンとして50mgを1日1回食後に経口投与する	過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁
薬剤部	フロリードゲル経口用2%5g (薬価:491/本)	1g:ミコナゾール20mg	持田	1.口腔カンジダ症 通常、成人にはミコナゾールとして1日200~400mg(ミコナゾールゲル10~20g)を4回(毎食後及び就寝前)に分け、口腔内にまんべんなく塗布する。なお、病巣が広範囲に存在する場合には、口腔内にできるだけ長く含んだ後、嚥下する 2.食道カンジダ症 通常、成人にはミコナゾールとして1日200~400mg(ミコナゾールゲル10~20g)を4回(毎食後及び就寝前)に分け、口腔内に含んだ後、少量ずつ嚥下する	カンジダ属による口腔カンジダ症、食道カンジダ症
薬剤部	メマリー錠10mg (薬価:240.5/錠)	1錠:メマンチン塩酸塩10mg	第一三共	通常、成人にはメマンチン塩酸塩として1日1回5mgから開始し、1週間に5mgずつ増量し、維持量として1日1回20mgを経口投与する	中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制
薬剤部	トラセミドOD錠4mg「TE」 (薬価:9.8/錠)	1錠:トラセミド4mg	トーアエイヨー	通常、成人には、トラセミドとして、1日1回4~8mgを経口投与するなお、年齢、症状により適宜増減する	心性浮腫、腎性浮腫、肝性浮腫

2) 変更薬品(在庫なくなり次第)

変更前薬品名

- ・トラネキサム酸カプセル250mg「トローワ」
- ・アズレン・グルタミン酸配合細粒「EMEC」
- ・サムスカ錠7.5mg・15mg
- ・イメンドカプセル125mg・80mg
- ・ジクロフェナクナトリウム坐剤12.5mg「JG」
- ・ゾピラックス顆粒40%

変更後薬品名

- トランサミンカプセル250mg
- マーズレンS配合顆粒
- サムスカOD錠7.5mg・15mg
- アプレピタントカプセル125mg・80mg「NK」
- ジクロフェナクナトリウム坐剤12.5mg「日新」
- アシクロビルDS80%「NK」

3) 削除薬品(在庫なくなり次第随時)

- ・セニラン坐剤3mg
- ・静注用マグネゾール20mL
- ・ノリレン錠10mg



:(使用頻度減少による削除)

※以下【通常採用】→【患者限定採用】へ採用区分変更薬品

- ・タルセバ錠25mg・100mg・150mg
- ・レベトールカプセル200mg
- ・アルプロスタジル注5 μ g「武田テバ」